

令和5年度 第1回 魚津市子ども・子育て会議

1 日 時 令和5年7月19日(水) 14時00分から15時30分まで

2 場 所 魚津市役所 第一委員会室(4階)

3 出席者 【魚津市子ども・子育て会議委員(17名)】

奥田 實	(富山県立大学 名誉教授)
戸田 千春	(魚津市社会福祉協議会 事務局長)
有澤 拓造	(魚津市民生委員児童委員協議会)
小林 佳織	(魚津市保育研究会 会長)
関口 孝子	(魚津市民間保育連盟 代表(天神保育園長))
松原 仁美	(魚津市幼稚園教育研究会 代表)
鹿熊 康成	(魚津市小学校長会 代表(清流小校長))
鍋島 正茂	(魚津市中学校長会 会長(西部中校長))
大谷 直美	(新川厚生センター魚津支所 主幹)
藤田 ちあき	(魚津市母子保健推進員連絡協議会 会長)
野村 博	(魚津市公民館連合会 代表)
亀沢 俊幸	(魚津市自治振興会連合会 代表)
石崎 茂晴	(魚津商工会議所 中小企業相談所長)
高島 克明	(連合富山新川地域協議会 事務局副次長)
小池 由紀恵	(公募)
高木 恵理	(公簿)

欠席者 【魚津市子ども・子育て会議委員(2名)】

田中 士郎	(魚津市PTA連合会 副会長)
-------	-----------------

事務局

武田 菜穂子	(民生部長)
窪田 昌之	(教育委員会事務局 局長)
村崎 博	(こども課長)
森山 明	(健康センター所長)
寺崎 修	(教育委員会事務局 参事)
森岡 めぐみ	(健康センター 母子保健係長)
小林 幹子	(教育総務課 学校教育係長)
南塚 紀子	(こども課 保育係長)
高森 玲子	(こども課 子育て支援係長)
近藤 宏紀	(こども課 子育て支援係)

4 審議内容

1 開会

事務局

本日は、お忙しい中ご出席頂きまして、ありがとうございます。

只今より令和5年度第1回魚津市子ども・子育て会議を開催します。開催に先だって魚津市民生部長武田菜穂子よりご挨拶を申し上げます。

2 あいさつ

お忙しい中、また暑い中、本日の会議にご出席いただき厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和3年度より書面による開催のみで、現委員の皆様と対面で会議をする今回が初めてとなります。現委員の任期が今月いっぱいとなっており、続けていただける委員様もいるかとは思いますが、そうでない方は今回が最初で最後の会議となりますので是非多くのご発言をお願いいたします。

さて、少子化対策につきましては、喫緊の課題として国が異次元少子化対策をすすめることとしていますが、本市においても「令和5年度行政経営方針」を立てるにあたり、子ども達の育ちを応援する施策を真っ先にもってきており、子育て支援対策に重点的に予算配分させていただきました。今年の9月からは市独自の取り組みとして、1歳以上のすべての児童、第2子以降の0歳児にかかる保育料・副食費を完全無償化し、さらに、「おうちで育児応援事業」として申請があった保育園等を利用していない満1歳から満3歳未満の児童の保護者へ月2万円を支給するなど、子育て世帯への支援を一層強化して参ります。

本日の報告・協議事項としましては、現在の進行中の「第2期魚津市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況と次期「第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けた取組、また、これらに加えて、本市が抱えている課題である「公立保育所・幼稚園の規模適正化」について、ご説明させていただきます。

魚津市の抱える子育て環境や少子化対策についての様々な課題に対して、皆様から忌憚のないご意見を頂戴し、解決に向けた取組ができるよう、努めて参りますので、ご協力をよろしくをお願いいたします。

簡単ではございますが、会議冒頭のご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

奥田委員長

久しぶりに対面で会議ができうれしく思います。対面で意見を交わし合うことも重要だと思います。国が少子化対策に本腰を入れ始めました。少子化問題に関しては、30年くらい前に富山県の人口問題を思う会の委員になり話し合う機会があったが、その時は誰も人口減少に危機感を持っていなかった。少子化によってどういった問題が出てくるのかが分かっていなかった。国や地域にとって少子化は非常に重要な問題になってきます。税収の減少や労働人口の減少による人手不足も問題となってくるが、それとは別に子ども達の貧困化やニュースで取り上げられるような保育園での事件もあります。事件を起こすことも問題だが、保育士や幼稚園教諭のおかれているひどい環境にもその要因がある。根本的な環境を変えていかなくては、子どもの教育環境は良くなると思っています。久しぶりの会議で報告・協議事項あると思いますが皆さんの積極的なご意見をお聞きしたいと思えます。

3 報告事項

⇒事務局より、報告事項（1）魚津市子ども・子育て支援事業計画進捗状況、（2）令和5年度子ども・子育て支援に関する主な新規・拡充事業について、資料1、資料2に基づき説明

奥田委員長

質問、ご意見等がございましたら、挙手をお願いします。

委員長

資料2の新規事業で子育てアプリ導入事業とあるが既存のアプリとの関係はどのようなものか。

事務局

今までも、「育ナビ」というアプリがあったが、新しく「母子モ」というアプリに変更した。変更した大きな理由としては、母子手帳の申請及び申請時のアンケートがアプリ上でできること、DXを推進するオプション機能があることがあげられる。市の子育て関係のHP等は新規アプリに引き継ぐ形となっている。

委員①

資料2の「子育て新婚世帯住宅取得支援事業」について新婚・子育てどのようなPRを行っているか。子どもが生まれ他市で家を建て転出するという話をよく聞く。事業の成果はどのようにになっているか。

事務局

担当課が異なるため分かる範囲でお答えする。他市に転出する方については、仕事の都合もあるとは思いますが、近隣市町村は魚津市と比べ土地が安価な傾向がある。そのあたりでできるだけ魚津市にいていただけるような支援と聞いている。ただ、滑川市は魚津市に比べかなり地価が安価なため、予算の関係もありこの補助金を使うと「得になる」とまではなっていないと聞いている。黒部市で土地を購入するのと同程度程度の補助だと聞いている。市としても定住促進に向けてこういった施策を充実させたいと思っている。元々は賃貸住宅の家賃補助としてやっていたが、定住を促すという意味でこういった事業に切り替えた経緯がある。都市計画課に住宅取得の窓口があり、来庁された方や市営住宅の申込みの際に広報しているが、さらに幅広い方に知ってもらえるよう広報の仕方等も色々考えてPRしていきたい。

委員長

広報の仕方というのは非常に重要だと思う。先ほど話であったアプリ等も活用してPRしてはどうか。

4 協議事項

⇒事務局より、協議事項（1）魚津市子ども・子育て支援事業計画、（2）市町村子ども計画策定について、資料③④⑤に基づき説明

奥田委員長

質問、ご意見がございましたら、お願いします。

委員②

「子ども・若者計画」のなかで、大人の若者までを対象とすると説明があったが、これはどういった方を指すのか。引きこもり等の若者も含む形か。

事務局

具体的なところまで掴んではないが、若者の引きこもり対策も踏まえた計画だと聞いている。

委員③

自分の周りの妊産婦で切迫早産等で妊娠中に動けなくなってしまう方がかなりいる。1人目がそうだと2人目もそうなケースが多い。そうなってくると、妊娠出産に対して二の足を踏んでしまう。妻がそう思っても、夫は子どもを望むケースがあり、もし動けなくなった時の日々の子育てを軽く考えていることが多い。そうなると、女性側が子どもを増やそうという気持ちにならないと思う。それを妻だけが言っても、夫に響かないと思う。第三者目線で妊娠中や妊娠に臨む女性の気持ちを夫に伝える場があれば、男性側の意識も変わり、子どもを増やすことに前向きになれるのではないかと思う。

事務局

妊娠中の支援となると、現状ないように思う。男性の育児休暇についても出産後となっている。今のご意見については、市が普及していかなくてはならないテーマの一つだと思う。具体的なサービスについては、全国的にそういった制度があるのか勉強しながら検討していきたい。

委員④

外国人移住者が魚津市でも増えており、保育の現場では保育教育もしながら言葉の壁もあり、保育士の負担になっている。魚津市にいるどのくらい外国の方がいるのか教えてほしい。

事務局

外国の方が増えているという実感は市としても持っている。公立園においても意思疎通が難しい園児がいると聞いている。幸い公立園に関しては、父母どちらかが日本語が通じるケースだが、意思疎通には苦慮している。実際の人数に関しては手元に資料がないためお答えできないが、そういった園児・保護者への対応は今後の課題になってくると思っている。スマホの翻訳アプリ等活用していくことも考えていただければと思う。こういった、現場での不都合もお聞かせいただき今後の施策に反映していきたいと思っている。

委員長

各保育園に翻訳機の配置も検討してみてもどうだろうか。

⇒事務局より、協議事項（3）公立保育所・幼稚園の規模適正化について、資料⑥に基づき説明

奥田委員長

質問、ご意見等がございましたら、挙手をお願いします。

特になし

5 その他

事務局

今回の会議については、今年（11月又は12月）を予定している。国のこども大綱やこども支援事

業計画の基本方針が示されたタイミング及び市の計画策定業者が決まったタイミングで開催したいと思っている。アンケート調査の内容等を委員の皆様へ審議いただければと思っている。

6 閉会

委員長

また、お帰りになられてからご質問・ご意見等がございましたら、事務局に連絡をお願いします。以上をもちまして会議を終了したいと思います。お疲れ様でした。

事務局

奥田委員長、ありがとうございました。

委員の皆様からは、貴重なご意見を賜り、熱く御礼申し上げます。

これにて子ども・子育て会議を終了します。本日は、ありがとうございました。

以上